のとちょう 議会だより

発行：能登町議会　発行日：平成 30 年８月１日　編集：能登町議会広報編集特別委員会

地元農園でのブルーベリー狩り（提供：松波こども園）

第53号の内容

- ６月定例会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２－３
- ６月定例会議一般質問・・・・・・・・・・・・・Ｐ４－12
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・・・・・Ｐ13
- 議会と語ろう会・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ14
- ６月定例会の議案質疑・・・・・・・・・・・・・Ｐ15
- まちかどインタビューと編集後記・・・・・・・Ｐ16

第53号

一　般　会　計
４億6105万７千円
補正予算可決

平成30年第４回能登町議会６月定例会議が開催され、報告５件、今年度の補正予算（一般会計・特別会計）、その他条例改正を含む議案10件及び諮問１件が提出された。議案は各常任委員会により審査し、最終日に全議案を可決、人事案件に関する諮問については適任とした。
また12日・13日の２日間に渡り９人が一般質問を行った。

平成30年度の総額予算　183億3405万７千円

一般会計補正予算

○総務費	4億4596万6千円
○民生費	195万6千円
○衛生費	564万1千円
○農林水産業費	203万6千円
○土木費	545万8千円

能登海洋教育研究施設建設予定地

主な補正内容
総務費…能登町有線テレビネットワーク施設（柳田・内浦地区）を光ケーブル化など
衛生費…現在の墓地区画に加え、新たに墓地区画を増設など
農林水産業費…小木イカ船団を応援するための支援品を購入など

全会一致で議案可決

能登町有線テレビネットワーク施設（柳田・内浦地区）再整備事業　エリア図

●1期工事（平成30年度）：柳田地区の柳A（800世帯）
●2期工事（平成31年度）：柳田地区の柳B、柳C、柳D、内浦地区の内A
●3期工事（平成32年度）：内浦地区の内B

能登町有線テレビネットワーク施設（柳田・内浦地区）の再整備を可決

能登町議会は、柳田･内浦地区の有線テレビネットワーク施設（以下、「施設」という。）を再整備（以下、「本計画」という。）する議案に対して可決した。

議案内容は、現在の柳田・内浦地区の施設を、すでに整備されている能都地区と同じように光化・通信の高速大容量化を図る計画で、本年度より３カ年の事業計画である。

１期工事（平成30年度）は柳田地区の一部、２期工事（平成31年度）は柳田地区の残りと内浦地区の一部、３期工事（平成32年度）は内浦地区の残り地区を再整備するものである。本年度の１期工事は柳田地区の一部（約800世帯）を対象に再整備するものである。

能登町議会としては、これまで能都地区だけであったＦＴＴＨ方式（※1）によるものが、能登町全域に整備されることで、高度情報通信への期待が大いに高まるものである。整備後は、テレビ放送で４Ｋ・８Ｋ配信に対応できるとともに、情報通信基盤の高速化、大容量化が図られる。この施設を利用して地域住民への行政サービスが一層充実することを期待します。

※１　ＦＴＴＨ化とは？･･･光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービスのこと。

いっぱん質問

6月定例会議の一般質問（12日・13日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

問　空き家対策の問題点について

答　この問題は喫緊の行政課題だ

市濱　等　議員

問　町の空き家等の状況を示せ。空き家は犯罪を引き起こす温床になる恐れもあるので、必要関係機関との情報の共有が必要ではないか。解体に対する補助金、判断基準について聞く。特に非木造は対象外と聞くが公平性に欠けているのではないか。今後の対応を示せ。

答　町長

昨年の10月に全町内を対象に調査を実施した。結果対象となる建物はABCDとランク付けしているが、全体で1653件、今後利活用できるもの『A』は194件、一部修繕で使用可能『B』が700件、大規模改修で使用可能『C』は201件、解体が必要『D』は55件だ。警察や関係団体との情報共有、連携をはかっていく。

能登町にとっても大きな課題である空き家対策

町には空き家等対策審議会がある。補助金は昨年度までに13件の助成をした。助成は公益上必要と判断されたものに限るのが適当と思う。非木造の建物についても補助制度を検討し支援体制の強化をはかりたい。

問　交通対策と道路行政について

答　現状の交通体系を維持したい

問　買い物バス、予約制ではない乗り合いタクシーを運行すればどうか。

観光にもわかりやすい道路整備、町内の幹線道路に名称、愛称をつける件についてその後の進捗状況は。町民の皆さんからの公募、全国からの公募等検討されたい。

答　町長

直営による運行を検討したが、現状の路線バス運営補助事業、予約制乗り合いタクシーを二本柱として現在の交通体系を維持したい。

道路利用にわかりやすく親しみのある名称設置は、観光や災害時にも大いに役立ち、検討を進めている。

問　インターネット環境を問う

答　3年間で光ケーブル化する

南　正晴　議員

問　**2年ほど前からインターネットの通信速度が遅くなったように感じる。遅くなった理由及び今回の補正予算で光ファイバーケーブルを更新する予算が上がっている。更新の計画を示せ。**

答　**町長**

同軸ケーブルで整備している柳田・内浦地区の伝送路が原因であると思われる。近年の情報技術の急速な進歩でパソコンの他、スマホ、ゲーム機などインターネットを活用した器機が増加傾向で、通信量も増加し同軸ケーブル内で大渋滞を引き起こしている状態である。今回の予算計上は総務省の国庫補助事業に公募し内定を受けたもので、同軸ケーブルを光ケーブルに張り替え、各家庭まで光回線を引き込み整備をすることでインターネット環境は飛躍的に改善される。平成30年度を第1期として3年間かけて光ケーブル化する予定である。整備を進める地区で説明会を開催し、理解を頂く。

問　新規就農者に更なる支援を求む

答　充実強化策を検討する

ハンマーナイフモア（自走式草刈機）で除草作業を行う従事者

問　**農業経営基準の強化の促進に関する基本的な構想が平成30年4月に更新されている。この目的は何か。また構想の中にある1人当たり300万円程度を確保する目標額の経営規模を行う場合の生産方式の農業機械を新規就農者が買おうとすると1千万円を超えると思われる。町の支援策はないか。**

答　**農林水産課長**

この基本的な構想は国が定める農業経営基盤強化促進法に基づき県が地域農業のあるべき姿についての基本方針を決定し、町が県の同意を得て定めてある。

300万円の所得を確保するには水稲単作の場合7ヘクタールの耕作と6ヘクタールの作業受託が必要となる。新規就農者がこの規模を営むための機械・設備の初期投資額は1千万円を超える。町は今年度より農業機械の購入支援を拡充し農地保全対策事業を創設しており、基幹的農作業に必要な5機種は購入金額を助成し、認定新規就農者は20％助成を行う。

問　**30才以下の若い就農者などの一定の条件を付けて補助を5％上乗せするとか利子補給を行うとかの施策は考えられないか。**

答　**町長**

若者の育成確保のため、さらなる充実強化策も検討したい。

問　その他質問

問　**特定外来生物についてセアカゴケグモに注意と町のホームページに記載されている。特定外来生物はどれくらい確認されているのか。定着はしていないのか。**

答　**住民課長**

必要に応じ注意喚起を行う

県内では動物6種、植物5種が確認されている。当町では平成27年10月9日に発見されたセアカゴケグモ1種のみでありその後新たなものは確認されていない。関係機関より新たに危険性のある特定外来生物の確認情報があれば住民に素早く注意喚起を行う。

セアカゴケグモは県内では4件の発見事例があるが、繁殖情報はないので、継続性は無いと思っている。

問　自動車学校の健全な存続を願う

答　重要性を認識、今後検討したい

鍛治谷　眞一　議員

問　70歳以上や75歳以上の免許更新には高齢者講習や認知機能検査が義務づけとなり、全国的に高齢者の免許更新がパンク状態にある。当町の能登自動車学校でも少子化で新規免許取得者は激減しているが、逆に高齢者の更新受講希望者は3～5ヶ月待ちとのことです。

公共交通が充実していない能登では免許と車は手放せません。この先地元で受講出来ず金沢や加賀まで出かけなければならない事態も考えられる。能登自動車学校では経営的には苦しいが、これまでのご恩返しと頑張っているとのことです。地域の大事な機関として応援、支援することを考えてみることは出来ないか。

答　町長

昭和40年の開講から52年間、送り出した卒業生が45000人を数え、この長い歴史や実績を踏まえると当町にはなくてはならない重要な存在であると認識している。あくまでも民間の施設ではあるが、どういった支援が出来るかも含めて、お伺いもしてみたいと思う。

多くの町民が卒業生

問　能登高校柳田校舎の有効利活用を

答　県の施設、活用を慎重に検討

問　昭和12年、生垣聞蔵医師がこの地を輝かすために私財を投じて創設された農業補習学校が、今も能登高校柳田校舎として豊かな里山風景を眺める絶好の地に堂々とその存在感を示しています。

世界農業遺産の地にあって、12棟の温室ハウスをはじめ実習室や実験棟、冷暖房完備の鳳柳寮など大変充実した施設であると思う。

県教委の所管であるから、県の立場を尊重しなければならないが、町としてこの『宝物』を失うことのないよう準備、検討すべき。

答　町長

生垣聞蔵氏の『農業振興の根本は青年教育にある』との信念が生んだ充実した施設は、現在、地域創造科地域資源コースの農業コースの生徒が週に4日実習などに利用、ハウスでは果樹や花卉、野菜の栽培に使用。県の施設でもあり、能登高校自体を応援することが柳田校舎の存続にもつながると思う。また農業コースを選ぶ生徒を増やすのも大事であると考える。

能登高校柳田校舎内にある温室ハウス

田端　雄市　議員

問　認知症かな？どこに相談

答　相談は、地域包括支援センターへ

問　認知症の疑いを持った本人や家族がまずどこに相談したらよいのか。

答　町長　医療機関の精神科を受診することもあるが、その状態により受診を拒まれる場合があり、地域包括支援センター（72－2513）へ相談していただきたい。

認知症の相談は地域包括支援センターへ（役場内浦庁舎）

問　地域包括支援センターの体制は万全か

答　ケースが完結するまで対応する

問　支援センターへの相談は、初期の対応から、多岐にわたるものもある。ワンストップの対応が求められるが、万全か。

答　町長　ご相談があった方には、そのケースが完結するまで真摯な対応をする体制をとっている。

問その他質問

認知症サポーターの養成は

認知症を正しく理解し、地域で支えるという意味で、認知症サポーターの養成を進めていただきたい。各市町では、それぞれ、取り組みが行われている。事業所の協力で進めている。また、小・中学校で、認知症サポーターの養成を行っているところもある。どのように進めるのか。

答　町長　本年の計画は、220人

本年の養成計画は、220人。各種団体からの養成講座開催の要請に応えていきたい。また、認知症への偏見をなくし、協力し合うネットワークを強化できるよう努めたい。

その他、認知症カフェについて、認知症予防施策について、を質問した。

馬場　　等　議員

問　子ども議会について聞く

答　模擬議会の体験による成長の場

問　能登町を担う人づくりを考えるときに、子ども議会のような、町の政策に中学生、高校生を参加させることの重要性が増していると思う。過去8回の子ども議会で実現した提案はあるか。

答　町長

子ども議会はあくまで模擬議会の体験による子どもたちの成長の場と考えております。事業は町の計画に基づいて実施しています。

緊張した面持ちも凛々しく見える子ども議会

問　能都庁舎の跡地利用について

答　今年度に委員会を組織し論議する

問　能都庁舎の跡地利用については、能登町の将来を担う中学生や高校生の意見を聞くことも必要だと思うが。

答　町長

今後は、まちづくりの専門家、地元の各種団体の長や議員の方々総勢10名程度で委員会を組織し論議していきたい。そしてその中に中高生の若い世代の意見を取り入れるように提案したい。

問その他質問

1月末の断水による防水計画は

能登町においても今回の断水を教訓として、防災計画に水道管の寒波対策等を位置づける必要があると思うが。

答　町長

家庭内給水管の漏水対策を明記する

町地域防災計画に家庭内給水管の漏水対策を明記し、再発防止を図ります。告知放送やホームページ等を通じて、早めに給水管の凍結予防対策を呼びかけたい。

Jアラートの不具合について

5月16日に行われたJアラートの全国一斉訓練において、能登町ではシステムが正常に作動しなかった。原因及び対策は。

答　総務課長

接続するパソコンが作動せず

Jアラートの受信機と町の有線IP告知放送システムをつないでいる接続用のパソコンの不具合により鳴らなかった。原因は停電によるもので、対策としては接続用パソコンに無停電電源装置を接続することとしました。

問　認知症対策について計画は

答　高齢者お楽しみ会等に支援したい

椿原　安弘　議員

問　厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上になる7年後の2025年度を見据え、認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに『認知症施策推進総合戦略』を改訂した。能登町の今後の取り組み計画を聞く。

答　町長

新しい総合事業による認知症予防事業のほか、地域のボランティア団体が主体となって行う事業では、高齢者交流会、すなわちお楽しみ会が50団体あり、小規模な地域での定期的な交流活動を行っており支援していきたい。

また介護、看護等の関係機関の連携強化及び対応向上を目指して、精神科医を招いての研修会等を積極的に開催したい。

問　国の『認知症施策推進総合戦略』では、「学校において、高齢者との交流活動など、高齢社会の現状や認知症の人を含む高齢者への理解を深めるよう教育を推進します。」となっているが当町ではどのようになっているか。

答　教育長

町内の各学校においては、総合的な時間をはじめ生徒会活動等の一環で介護施設への慰問や盆踊り大会の準備、お年寄りとのゲートボールやグラウンドゴルフ大会などの交流活動を行っている。

さらにキャリア教育の一環で、職場体験として老人福祉介護施設や病院等での数日間の実習を行う中で、高齢者との関わりや心身のケアの必要性や難しさなどを体験しながら学んでいるので推進していきたい。

第二長寿園盆踊り大会の準備を手伝う松波中学校生徒

問　平成29年度の決算見込みは

答　一般会計で４億900万円の黒字の見込み

問　5月末で29年度の出納が閉鎖されたが一般会計と企業会計の決算見込みを聞く。

答　会計管理者

一般会計は４億３８００万円の黒字で、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は４億９００万円黒字の見込みである。

答　上下水道課長

水道事業会計は収益的収支で純利益５５１３万５０００円の黒字見込みである。

答　病院事務局長

病院事業会計は収益的純利益４４３７万５０００円の黒字見込みである。

酒元　法子　議員

問　やなぎだ荘の施設更新の有無について

答　建て替え計画はなく維持管理に努める

問　建設から42年が経過し、良泉を有し地元住民らの多くの入浴利用や会合・合宿等で利用されているが、駐車場やバリアフリー等で苦情も聞きます。のと里山空港や北陸新幹線利用者の来訪を促すためにも施設全体の再整備について問う。

答　町長

施設設計が古く完全なバリアフリー構造となっていないが適時修繕を継続して、豊富な良泉に恵まれた現有施設の維持管理に努めたい。また、その魅力を内外に広く発信し、さらなる利用者の増加を図りたい。

問　植物公園内トイレについて

答　現有施設について一部大規模改修を実施

問　施設内トイレについて、利用者数に比べて少ないのでないか。また自然環境に取り組んだトイレ施設も必要ではないのか。

答　ふるさと振興課長補佐

利用者からの声を受け、入口駐車場横の一箇所について、平成27年度で大規模改修により全て洋式化を図りました。

県内でも屈指の観察地である『星の観察館満天星』

問　その他質問

プラネタリウム満天星の防犯体制について

オープン以来約20万人の利用がある施設ですが、施設内には口径60センチ反射望遠鏡や、４００万個の星を映し出すプラネタリウム等、高額で貴重な設備がありますが、防犯体制はどのようになっているか。

答　町長

今後警備保障等の導入を検討

今後は警備保障等の導入を検討したい。なお過去の天体観測記録や天体写真については、全てデジタルデータとして外部媒体に保存するなど安全を期している。

宮田　勝三　議員

問　のとキリシマツツジ英国寄贈に最善の取り組みを

答　町として力強く支援をしていきたい

問　町花であるのとキリシマツツジは石川県歴史遺産として認定されている。のとキリシマツツジを英国から寄贈してもらえないかという話がＮＰＯ法人のとキリシマツツジの郷に届いているが、インバウンド（外国人訪日旅行等）、さまざまな視点から町おこしに期待が持てると考える。町として支援をどうお考えか。

知事を迎えて挙行された
『いしかわ歴史遺産認定記念植樹式』

答　町長

寄贈するための苗木を育てるには2、3年はかかるということですので、当面は寄贈を目標とし、勉強会には関係職員を参加させるなど、ＮＰＯと情報を共有しながら一緒になって進めていきたいと考えている。能登町の町花が海外の植物園で紹介されるだけでも町の名声を高めることになりますので、その実現に対しましては町としても力強く支援をしていきたい。

問　大使をお招きすべく努力を

答　早めに取り組みをしていきたい

問　『大使をお招きすることもやぶさかでない』という風なお話もＮＰＯ法人の会に届いているようでありますが、県の歴史遺産でもあり知事のお力添え、県のお力添えを得ながら、汗をかくに値すると思われるがその思いの程は。

答　町長

大変光栄なことと思っております。ただイギリス大使に公式に来ていただくとなると県とも相談が必要でしょうし、また来ていただく時期についても、どうせならのとキリシマツツジが咲いている頃がいいのかなという気もしますので、こういったお話が伺えた以上、早く取り組みをしていきたいと考えております。

志幸　松栄　議員

問　能登町の将来像について問う

答　住民が『自信と誇りを持てる力強い町づくり』に取り組む

問　人口減少、少子高齢化社会の対応策について、また副町長とともに当町の発展策について問う。

答　町長

人口減少等々については、能登町創生総合戦略の中での移住、定住の促進に向けて引き続き取り組み、行政・議会・町民・事業者等が一体となり、活力ある地域社会、経済の維持向上に向けて総力をあげ、副町長とともに取り組んで行きたい。

問　介護保険料について問う

答　介護保険の運営状況を見据え適切な保険額を算出

問　介護保険料増の要因は、また近隣市町との保険料の比較ならびに町内各施設利用の実態を問う。

答　町長

要因としては、改訂前では適切な介護保険事業の運営が出来ない状況下であったことに併せ、保険料を納める方の減少、また団塊世代の増を見込んだものです。

比較では奥能登2市2町の中では当町が最も低い額です。実態では介護予防のデイサービス利用の伸びが見込まれるところです。

町には多くの介護保険施設があります
（藤波デイサービスセンター）

問　その他質問

問　高齢者における交通体制について

山間地における高齢者単身世帯の交通体制と、今後の対策について問う。

答　町長

予約制乗り合いタクシーの支援の実施

交通弱者対策として、予約制乗り合いタクシーの支援を中心に考え、ご自宅の玄関から目的地までの送迎で有益なサービスの実施とあわせ、今後も乗り合いタクシーの利用に向け広くＰＲしていきたい。

総務産業建設委員会

椿原安弘（委員長）
市濱　等（副委員長）
馬場　等　國盛孝昭
酒元法子　河田信彰
宮田勝三

6月7日委員会を開催し、付託された議案7件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

●一般会計予算

問　コミュニティー助成事業での500万円の内容は。また全額町単費か。

答　これは全額、自治総合センターからの宝くじ補助金であり、2件が採択された。

山口町内会の祭礼備品修繕に対するものと、区長会連合会が購入する集会施設の机や椅子に対するもので、ともに補助金満額の250万円である。

問　土地購入について。

答　昨年度庁舎建設室で行った内浦総合支所建設の用地測量調査で発覚したもので、一筆だけ個人名義のものが残っていた。

○意見要望について

議案第61号から議案第63号までの3件について、能登町内の業者が受注できるように配慮してほしい。過去に能都中学校解体工事において、4分割で町の事業者に受注をはかった経緯がある。検討してほしい。

○管内視察

のとキリシマツツジ園（合鹿地内）、災害対策特殊救急自動車（上町地内）、すず道路取り付け道路（上町地内）、特用林産物活用施設等整備事業（寺分地内）

教育厚生委員会

金七祐太郎（委員長）
田端雄市（副委員長）
小路政敏・南　正晴
向峠茂人・志幸松栄
鍛治谷眞一

6月7日、委員会を開催し、付託された議案4件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。

なお、審査過程での主な質疑応答は、以下のとおり。

問　墓地公園内の墓地区画の返還はできないか。

墓地の区画が完売の状態とのことで、補正での追加予算には理解できるが、今後、改葬による返還もあると考えるが、返還は可能か。

答　契約後、3年以内の返還なら、契約金額の半額を戻し、3年以上経過の場合は、契約金額の返還はできないが、墓地区画の返還は可能。

問　町外に転出して連絡が取れなかった場合は。

町外流出による無縁化も考えられる、10年経過した場合どうなるか。

答　管理料は、年間2000円を10年ごとに20000円ずつ納付することとなっている。滞納は、現在はないが、滞納発生時の対処について検討する。

管外視察報告（北海道東藻琴高等学校）

教育厚生常任委員会　副委員長　田端　雄市

平成30年6月20日（火）に北海道東藻琴（ひがしもこと）高等学校の管外視察を研修した。

大空町には、視察先東藻琴高校とともに、女満別（めまんべつ）高校があり、ともに定員割れが激しく、道教育委員会からは、整理統合の意向が迫る状況にあった。

私たちが訪問した時は、現町長の「大空町」の未来を担う高校教育を何としても守る。との思いから本年30年度を目指し、地域住民との対話を重ね、10年かけて、教育推進計画を成し遂げ、6月定例会議の議会採決となり、実行のスタートを迎えるところであった。

東藻琴高校（全校生徒48名）は、農業を主体とした職業教育の高校であり、農業生産物を使った商品開発などは、本町の能登高校にもみられる光景である。少し違うかと思われたのは、「地域に根差した特色ある教育活動」と掲げている通り、地域交流販売会を年6回、地域行事の参加における販売を年4回、学校祭での販売を年2回、そして、こうした販売会を父兄の授業参観とするなど、地域コミュニケーションの向上を図る場と、大いに活用していることである。

特に感銘したのは、デジタル人材育成事業として、【ヤフー株式会社との連携授業】の見学であった。インターネット販売による電子商取引を、グループ演習・学習の様子は、うらやましい思いであった。特にこの授業を学び、町内webデザイン業者への就職に結びついたとの報告は、地域活性化の貢献として、実りあるものと感動した。

校長先生はじめ、3人の方の説明であったが、どの方も東藻琴高校の教育に携わる誇りと喜びが感じられ、これが何より生徒の成長の滋養となる。こう考えたのは、視察に訪れた全員の思いであろう。

町立の高校を視察した教育厚生常任委員会のメンバー（北海道東藻琴高等学校）

議会と語ろう会

平成30年6月10日に、4箇所の公民館を伺い、延べ約70人の町民の方々からの質問や要望等をお聞きしました。今後もこういった場を持ち、地域住民の意見を議会活動に反映させていきます。
各会場での主な意見等は以下のとおりです。

町民から生の声を聞き議会活動に反映していく

◇三波公民館

町　民　議会傍聴はすぐできるのか、またどんな手続きが必要か。一度行ってみたい。

議　会　当日でも大丈夫です。能都庁舎5階に上がっていただき、受付で住所と名前を書いて頂ければ傍聴できます。

町　民　なぜ現能都庁舎の跡地利用のアンケートを宇出津地区だけに出したのか教えてほしい。またアンケート結果もいつになっても明らかにしないのはおかしいのではないか。

議　会　行政に確認したところ、能都庁舎は宇出津地区に建っているので、まず宇出津住民の意見を聞きそれをたたき台として有識者や議員などを入れた委員会をつくりそこで論議して決めたい。7月中に第1回の委員会を開く予定で、アンケート結果については8月広報や町ホームページに掲載する、とのことでした。

町　民　秋には能登町議会議員選挙があるが選挙公報はなぜないのか。新人が出る場合などは必要だと思いますがいかがですか。

議　会　現在、選挙公報を発行していない県内の自体は、本町を含め4町となっています。町長及び町議会議員選挙の場合は運動期間が5日間しかなく、告示の日に届けのあった記事を使用し印刷する関係上、作っても届くのに2～3日かかり、期日前投票の初日には届かないこともあります。しかしながら、選挙公報の重要性はかなり高いと思われますので、今後、町選挙管理委員会としっかり話し合いを持ちたいと思います。

◇瑞穂公民館

町　民　大和堆のＥＥＺの問題に関して、町としてしっかり水産庁や農林水産省へ働きかけるべきだ。

議　会　議会として水産庁や国会議員へ陳情要望してきたが、今後も関係機関へ働きかける。

町　民　瑞穂地区では、75才以上の一人暮らしの本人と都会にいる家族にアンケートを実施した。その結果、冬季間に地区で集団生活できるような施設を検討している。実施段階には、議会の支援をお願いしたい。

議　会　どこの地区でも同じような問題を抱えている。議会としても応援したい。

町　民　山田川の中洲除去をお願いしたい。県の管理だそうだが、町からも積極的に働きかけていただきたい。

議　会　県土木事務所へ要望するよう町当局へ伝えたい。

◇小間生公民館

町　民　総合庁舎が出来るので支所は不要ではないか。支所にお金をかけるのは無駄ではないか。

議　会　各支所には10名程度の職員を配置し、柳田・内浦地区の町民には本庁まで出かけなくても良いサービスを提供できるよう議会として要請する。

町　民　各種予算をやりくりして防火水槽を整えていただきたい。

議　会　民有地に整備することが多いので、地区からの要望により早急に整備するよう努めている。

町　民　農道、林道の維持管理を地区で行っているが高齢者が多いので負担になってきている。町は今後どう対応する。

議　会　国の森林環境税が来年度から交付される予定であるが、下草刈りや沿道の樹木伐採等に使えるよう要望していく。

◇不動寺公民館

町　民　高齢化時代が進み、高齢者の免許返納者の増加や過疎化による交通弱者に対しきめ細かな対応を望む。

議　会　能登町では病院に通院される方や買い物等に対し、デマンドタクシー（乗り合い）等で交通弱者に対応しているが、まだまだ不十分と思われるので、能登町地域に合わせた独自の公共交通対策を議会としても議論し、行政に働きかけたい。

町　民　この辺りでは空き家が増え、危険でいつ倒壊してもおかしくない空き家がある。隣近所でも安心して通行できない箇所もあるので、積極的に危険家屋の対応を進めてほしい。

議　会　家主が不在で連絡が取れにくい状況であると行政から聞いているが、今後積極的に対処するよう行政に要請したい。

町　民　国道249号線の十八束地内で不要物回収場所の一部が道路にはみ出ており交通安全上危険な状況であるので対処してほしい。

議　会　行政に確認したところ、交通安全上危険と思われるので、県土木事務所が警察と役場立ち会いの上で、道路にはみ出た物を除去しシートを被せて対処した、とのことである。

議案をチェック

6月定例会議の議案質疑

問　鍛治谷眞一　議員

議案第62号　請負契約の締結について（平成30年度海洋教育研究施設建設工事（電気設備））

議案第63号　請負契約の締結について（平成30年度海洋教育研究施設建設工事（機械設備））について

予定価格と最低制限価格の差が1割で、応札した業者全員が全員同額であるのが奇異であるが他市町でもあるのか。

答　監理課長

予定価格については、県及び県内の全自治体で公表している。また最低制限価格の算出方法についても町のホームページで示しているので自分で積算できるようになっている。

問　小路政敏　議員

同じく議案第62号及び第63号について

応札した業者が全て町外の業者であるがなぜか。また、その後について町内の業者たちの役割があるのか聞かせて下さい。

答　監理課長

海洋教育研究施設建設工事の電気設備の予定価格は税込約8560万円、同じく機械設備は9160万円です。

町では3000万円以上1億を超えない工事については、単体の一般競争入札としております。また今回の入札資格要件として下請契約を締結するのに必要な特定建設業の許可を有している事を資格要件とし、他に総合工事高、県内の主たる営業所等も資格要件として求めた結果、特定建設業の許可を有していないということで町内業者が入札に応札できなかったということです。

また、金沢の業者が落札しましたが、下請けを出す場合は町内の業者に出していただけるようにお願いをしております。

能登海洋教育研究施設起工式に出席した議員一同

4月から6月の主な議会活動

- 4月18日　議会運営委員会・全員協議会・第3回能登町議会4月会議
- 4月20日　広報編集特別委員会
- 4月24日　石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式（内灘町役場）
- 5月1日　議会運営委員会
- 5月17日～18日　広報編集特別委員会視察研修
- 5月28日　全国町村議会議長・副議長研修会（東京都29日まで）
- 5月29日　奥能登クリーン組合議会臨時会
- 5月31日　議会運営委員会
- 各種団体総会等
- 6月1日　全員協議会
- 6月4日　珠洲市議会行政視察（来町）
- 6月6日　第4回能登町議会6月定例会議（議案上程）
- 6月7日　常任委員会
- 6月10日　議会と語ろう会（三波・瑞穂・小間生・不動寺　公民館）
- 6月11日　広報編集特別委員会
- 6月12日　第4回能登町議会6月定例会議（一般質問）～13日
- 6月15日　第4回能登町議会6月定例会議（採決）
- 6月15日　議会運営委員会
- 6月19日　教育厚生常任委員会視察研修（21日まで）北海道
- 6月27日　茨城県美浦村議会行政視察（来町）
- 6月28日　能登町町会区長会連合会能都支部との意見交換会

平成30年度出欠状況表

出席○　遅参、早退△　欠席×　対象外－　オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席する時

月　日	会議名＼議員名	馬場　等	田端　雄市	金七祐太郎	國盛　孝昭	市濱　等	小路　政敏	酒元　法子	椿原　安弘	河田　信彰	南　正晴	向峠　茂人	志幸　松栄	宮田　勝三	鍛治谷眞一
30/04/18	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/04/18	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/04/18	4月会議	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/04/20	広報編集特別委員会	－	○	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	○
30/05/01	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/05/17.18	広報編集特別委員会視察（岐阜県）	－	○	－	－	×	○	○	○	－	－	－	－	－	×
30/05/31	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	－	－	○	－
30/06/01	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
30/06/06	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/06/07	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/06/10	議会と語ろう会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
30/06/11	広報編集特別委員会	－	○	－	－	△	○	○	○	－	－	－	－	－	○
30/06/12	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/06/13	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/06/15	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/06/15	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/06/19～21	教育厚生常任委員会管外視察（北海道）	－	○	○	－	－	○	－	－	－	○	○	○	－	○
30/07/02	広報編集特別委員会	－	○	－	－	○	△	○	○	－	－	－	－	－	△
30/07/04	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	×	○	オ	－	○	－
30/07/10～12	総務産業建設常任委員会管外視察（北海道）	○	－	－	○	○	－	○	○	○	－	－	－	○	－
30/07/19	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/07/19	全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/07/19	7月会議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/07/19	広報編集特別委員会	－	○	－	－	×	○	○	○	－	－	－	－	－	○

まちかどインタビュー

今回は日本舞踊を指導し、ボランティア活動に取り組んでおられる寛椿会代表の大河寛椿さんこと椿原光子さんに、松波の稽古場へお尋ねしお話を伺いました。

真剣な表情で指導を受ける生徒たち

日本舞踊に興味関心を持たれ、目覚めたのはいつ頃ですか?またどのようなきっかけですか。

小学校低学年の時、着物姿に憧れ、いつかは日本舞踊を習いたいと思っていました。幸い23年前にチャンスがあり、念願の道に入ることができて、今は日本舞踊が好きな3歳から90歳までの幅広い年齢の方々と一緒に、お稽古にボランティアに汗を流せることに大変感謝しています。

特に若い人たちとはお稽古と共に、お行儀の話ができること、また若い人たちとお話をしていると、自身にも元気と活力が湧くようで喜んでいます。

今、日本舞踊を主催されて一番楽しいことはなんですか。

会の皆さんと共に、老人ホーム、お楽しみ会、公民館活動などへ出かけて、大勢の皆さんに大きな拍手と、うれしそうな笑顔に会えることが何よりの楽しみです。また着物を着ると身の引き締まる想いと、姿勢が正しくなり健康に過ごせそうで気に入っています。

活動に対する今後の思いを聞かせて下さい。

宗家のもと、自身にも課題を与え、日々精進することが大切と考えています。その上で、お弟子さんたちと共に、ボランティア活動を続けたいと考えています。

また、3年に一度の発表会(今年度はラポルトすず)を開催し皆さんに楽しんで頂きたいとも考えています。また若いお弟子さんたちが良い指導者に成長することにも期待を寄せています。

次の定例会議は9月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

平成30年7月豪雨で被災された
皆さまへのお見舞いと
一日も早い復興を議員一同
心よりお祈りいたします。

広報編集特別委員会

委員長　田端　雄市
副委員長　市濱　等
委員　小路　政敏
　　酒元　法子
　　椿原　安弘
　　鍛治谷眞一

編集後記

来年5月1日に元号が代わります。2年後、東京オリンピックが開催されます。54年前に開催された時も日本の様が大きく変化した時代です。我々議会も、常に移り行く次の時代を見据えた取り組みや確認が必要です。この広報が町民の期待に応えるよう励んでまいります。

委員　小路　政敏

発行：能登町議会　編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1
TEL（0768）62-8540　FAX（0768）62-8541